

表1 本県における多目的スペースの設置状況

年度	市町村名	学校名	学級数 (普通+特殊)	建築面積 ㎡	多目的 スペース ㎡	形態別内訳			
						廊下拡張 ㎡	独立室 ㎡	ホール ㎡	その他 ㎡
59	三春町	岩江小	8	2,388	753	609		144	
	矢吹町	中畑小	12	1,450	220			220	
	西郷村	羽太小	6	1,721	84		84		
	大信村	信夫二小	5	1,710	117		117		
	喜多方市	熊倉小	6	895	200		200		
	会津坂下町	広瀬小	8	2,406	198		198		
	塩川町	塩川中	9+1	2,904	151			151	
	下郷町	旭田小	6+1	2,075	140			140	
	檜枝岐村	檜枝岐小	4+1	1,127	90		90		
	原町市	原町二小	19+2	1,536	160		160		
	(計11校)	いわき市	入遠野小	9+1	989	126	126		
60 (計画)	福島市	立子山中	3	1,726	130			130	
	国見町	県北中	14	4,998	462			462	
	梁川町	山舟生小	6	1,897	332	332			
	保原町	桃陵中	19	6,002	711	711			
	白沢村	和田小	6+1	2,135	493	493			
	郡山市	富田中	15	4,980	1,057	798		203	56
	〃	守山中	11+1	2,214	463	463			
	〃	三穂田中	8+1	1,998	530	530			
	須賀川市	須賀川二中	18+2	4,934	351		351		
	〃	稲田中	6	2,419	274		274		
	古殿町	論田小	6	1,691	144			144	
	大越町	大越中	9	2,940	382			382	
	常葉町	関本小	6+1	1,134	260			260	
	船引町	船引中	15+1	5,239	961	245			716
	白河市	白河五小	6	1,965	315	315			
	会津若松市	第三中	18	6,002	1,508				1,508
	北会津村	荒館小	12+1	3,822	525	525			
	猪苗代町	山潟小	6	1,818	275	275			
	山都町	山都中	6+1	2,999	259			259	
	館岩村	館岩中	3	2,189	202			202	
	広野町	広野小	14+2	2,259	473	473			
	いわき市	湯本二小	12+2	1,814	241	241			
	(計23校)	〃	江名小	12+1	2,129	495	495		

〈資料〉  
文部省「これからの学校施設づくり六つの留意点」

公立学校施設づくりは、全国的に量的不足の解消に主力を注がなければならなかった時期においても、各設置者においてその位置や環境及び建物の安全性や快適さ等に配慮して行われてきた。今後の学校施設づくりは、引き続きこれらの点に留意することはもちろん、さらに、二十一世紀の児童生徒の教育、学習の場をつくるという長期的観点に立った配慮が必要となっている。そして、こうした施設づくりに当たっては、特に次の六点到留意する必要がある。

なお、これらの点に留意しつつも、学校施設が画一化されず、それぞれ個性的で、特色あるものとする事が望まれることは、言うまでもない。

1、学校の基本的条件（適正規模）を充たした施設づくり  
児童生徒の教育指導上、学校の管理運営上さまざまな問題を有する過小規模校の統合及び過大規模校の分離の促進を図ることが必要である。

2、教育・学習方法の多様化に対応した施設づくり

近年、「最近の学校における問題行動に関する懇談会」（五十八年三月）